（様式１：令和３年２月改訂）

令和７年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所 属 名	雲仙市立小浜中学校	作成者	職名	教頭
電話番号	0957-74-2737		氏名	藤島亮介

１　年間の実施内容（取組状況・実績等）

４月	実施テーマ	○「セクハラ、わいせつ行為の防止」 ○「交通法規の遵守」 ○「不祥事根絶に向けた意識向上」

取組の評価・改善点

【通知】「教職員の服務規律の確保」を基に、校長が項目をあげて指導を行い、各職員は重点事項を設定して具体的な努力事項を掲げた。また、交通安全に関しては重点的に指導を行い、交通事故等が起きた場合の対応についての具体的方法の説明を行った。職員は「心と性に関するチェックシート」に各自で取り組み認識を高めることができた。

７月	実施テーマ	○「体罰の禁止」 ○「公金等の不正処理の防止」 ○「情報セキュリティー対策の徹底」

取組の評価・改善点

体罰の禁止に関しては、長崎県教育委員会発行「ガイドライン　体罰の根絶に向けて」を使って再確認するとともに、「体罰根絶に向けたチェックリスト」で自己診断を行った。公金等の処理に関しては、部活動手当の申請について再確認することで、不正処理防止に対する意識を高めることができた。情報セキュリティーに関しては、デジタルだけでなくプリントアウトした紙媒体も含め個人情報を扱う際の管理意識を高めることができた。

１２月	実施テーマ	○「コンプライアンス（法令順守）の職場づくり」 ○「飲酒運転の根絶」

取組の評価・改善点

コンプライアンスと飲酒運転の根絶に関する具体的な事例を取り扱った動画を使って研修を行った。実際に起きた事案を通して、職員の危機意識を高めることができた。また、一般企業での取組を知ることで、今までとは違う視点から職場環境をチェックする意識を持つことができた。

２　服務規律委員会

委員会名	小浜中学校服務規律委員会
構 成 員	所属内委員（７名）、外部委員（１５名　役職等：学校支援会議委員）

３　年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。(複数回答可)

イ	キ								

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。

※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

(○) できた	(　) 概ねできた	(　) 少し不十分	(　) できなかった

(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

(○) できた	(　) 概ねできた	(　) 少し不十分	(　) できなかった

(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた	(　) 概ねできた	(　) 不十分だった	(　) 実施してない

資料添付	有　・　(無)

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【 工夫（例)】

ア　運営の工夫
- 管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ　具体的な事例の紹介
- 県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ　外部講師を招いての講話

エ　体験的な研修
- ロールプレイを取り入れる。

オ　グループ討議
- 小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- 「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ　ワークシートの作成
- 何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ　チェックリストを作成
- チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク　ファイリングして保存
- 各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ　決意表明
- 全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ　職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
- 川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。